

米国政治現状と未来

三牧准教授

大経高

が講演

日本記者クラブ



米国政治について語る三牧氏

摘。トランプ大統領は

自国第一主義を唱え、若い世代も長期的な衰退局面を受け止めて、多国間協調路線にシフトしているとした。

新型コロナウイルスを巡っては「軍事的・経済的に世界最大・最強の米国がここまで脆弱だった現実。米国民にとって何が脅威なのかを再考し、狭い意味での『国家安全保障』から脱却するきっかけになる」と語った。

日本記者クラブが「米大統領選の行方」をテーマに研究者らを招いて聞く記者会見の4回目。

高崎経済大の三牧准教授が31日、東京都内の日本記者クラブで会見し、米国政治の現状と未来について「アメリカ例外主義のおわり?」と題して講演した。

三牧氏は米国の政治情勢について、優越性と特殊性を前提として世界秩序構築に積極的に関与する「例外主義」に変化がみられると指